








決 裁	議 長	局 長	次 長	係 長	係 員
				 	 

派 遣 承 認 要 求 書

令和元年7月9日

栗原市議会議長 殿

会 派 名 新清流  
代表者氏名 高橋 義雄



下記のとおり議員を派遣したいので、承認されるよう要求します。  
記

日 時	1 令和元年8月7日(水) 午前 5時00分から 2 令和元年8月9日(金) 午後 6時40分まで
派 遣 先	広島県呉市、岡山県西粟倉村
派 遣 目 的	広島県呉市「呉駅周辺地域総合計画について」 岡山県英田郡西粟倉村「百年の森林事業について」
経 費	640,120円
派 遣 議 員 氏 名	高橋義雄、佐藤範男、阿部貞光、澤邊幸浩、高橋将
議 長 依 頼 文 の 要 否	<input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
備 考	



栗原市議会会派 「新清流」 視察行程表

日程

令和元年8月7日(水)から9日(金)まで

月日 (曜日)	行 程	発	着	摘 要
8月7日 (水)	くりこま高原駅 ~ 仙台空港	5:00	6:30	レンタカー移動
	仙台空港 ~ 広島空港	7:35	9:10	ANA3135
	広島空港 ~ 呉市	9:30	10:40	レンタカー移動
	昼食等	12:00	13:00	【呉市役所食堂】
	【行政視察(机上調査) 「呉駅周辺地域総合計画について」	13:00	15:00	呉市役所 TEL 0823-25-3242
	呉市役所 ~ 宿泊先	15:00	16:00	レンタカー移動
	ホテル(泊)			【宿泊先】 コンフォートホテル呉(呉市内) TEL 0823-32-4811
8月8日 (木)	ホテル ~ 広島駅	8:30	9:34	呉・山陽本線
	広島駅 ~ 姫路駅	9:50	10:48	のぞみ124号
	姫路駅 ~ 西粟倉村	11:00	12:00	レンタカー移動
	昼食等	12:00	13:00	【道の駅レストセンター あわくらんど】
	【行政視察(机上調査) 「百年の森林事業について」	13:30	15:30	西粟倉村役場 TEL 0868-79-2111
	西粟倉村 ~ 宿泊先(姫路市)	15:30	17:00	レンタカー移動
	ホテル(泊)			【宿泊先】 ホテルモントレ姫路(姫路市内) TEL 079-224-7111
8月9日 (金)	ホテル ~ 伊丹空港	9:00	13:40	レンタカー移動
	伊丹空港 ~ 仙台空港	15:25	16:35	JAL2209
	仙台空港 ~ 仙台駅	17:23	17:48	アクセス線
	仙台駅 ~ くりこま高原駅	18:14	18:39	JR新幹線やまびこ199号

## 視察研修結果報告書

令和元年8月30日

栗原市議会議長 佐藤 久義 殿

会 派 名 新清流  
代表者氏名 高橋 義雄



視察・研修した結果について、下記のとおり報告します。

### 記

1 期 間 令和元年 8月7日～9日

2 視察研修先 広島県呉市 呉市役所  
岡山県西粟倉村 西粟倉村役場

### 3 目 的

- (1) 呉市における呉駅周辺地域総合開発の取り組みについて
- (2) 西粟倉村における百年の森林事業構想について

### 4 調査研究内容

- (1) 呉市における呉駅周辺地域総合開発の取り組みについて  
6年前の大型百貨店の閉店以後、閉店跡地の活用や隣接する呉駅前広場の再整備、一方で、昨年のも雨災害による甚大な被害から見えてきた、呉駅周辺の交通拠点整備によって当地域と被災地をつなぐ災害時の防災拠点の役割について調査研究にあたる。
- (2) 西粟倉村における百年の森林事業構想について  
約50年前に、子や孫のためにと、木を植えた人々の想いを引き継ぎ、そのためにあと50年、村ぐるみで立派な百年の森林を育て上げていく。その具体的な取り組みについて調査研究にあたる。

5 参加議員 高橋義雄 佐藤範男 阿部貞光 澤邊幸浩 高橋将

6 所 感



(1) 呉市における呉駅周辺地域総合開発の取り組みについて

現在、呉市が呉駅周辺地域総合開発の基本的な方向性として考えているのが、呉駅を鉄道駅だけでなく、バスや港の総合交通拠点にして、まちづくりの核として機能できること。次世代モビリティを導入し、ICT・AI技術を活用した自動運転・大量輸送を可能とするバス輸送システムなど、通信機能等を備えた移動手段を駆使して、交通拠点機能以外でも、休憩・情報発信・防災・地域連携などの機能を併せ持つ空間、都市型「道の駅」を目指している。わが栗原市においても、JR新幹線「くりこま高原駅」を有するなかで、現在、中核知能地域基本計画が進行しているが、次世代モビリティを活用した都市型「くりはら道の駅」とした総合交通拠点も視野にいれるべきと感じた。

(2) 西栗倉村における百年の森林事業構想について

全国的に森林荒廃が深刻化する中で、西栗倉村の取り組みは注目すべきものである。「私たちが目指すのは、50年後の森」という高いところざしのもと、実に多角的に森林事業がなされている。10年前から計画し実践されているが、その実例として、森林整備を集約化し、個別施業ではなく、集約化施業に移行し、百年の森林総合情報として、システムネットワークを構築し、所有者ごとの境界を明確化し、路網整備の効率化に活かしている。また森林施業の契約を長期施業管理のもと、請負契約の推進を行っている。最近では、新しい契約のかたちとして、森林信託と称して、信託銀行が個人や自治体に代わり所有林を管理するシステムも導入されている。栗原市においても、森林荒廃は目を覆うばかりであるが、個人に依存しても荒廃は止められず、まずは集約化できる施策を講じられるか、西栗倉村を見習うべきと感じた。

## 視察研修レポート

視察地域：広島県呉市

主な視察内容：呉駅周辺地域総合開発

講師：呉市都市部呉駅周辺事業推進室呉駅周辺事業担当課長 橋本 美知明 氏

呉市の基本情報として人口 223,685 人。面積 352.81 km<sup>2</sup>、瀬戸内海に面し、人口規模は広島県内で福山市に次ぐ 3 位。23 年前に中核市に指定されている。呉市にある大和ミュージアムは年間 100 万人の観光客がいる。

## 呉駅周辺地域総合開発

呉駅周辺地域総合開発の中心となる JR 西日本の呉駅の利用客は 23000 人/日で、近隣の駅に比べて突出して利用者が多い駅となる。宮城で言えば名取と同じくらいの利用客数である。加えてバス利用は 8000 人/日。

周辺を利用している人数は 3 万人程と見られている。

駅前開発の基軸となるのが、平成 25 年に閉店した「そごう呉店」の空きビルである。西武所有の建物で 30000 m<sup>2</sup>越えの立派な建物で、活用する後継事業者を探していたが、これまで数十億規模の事業ができる企業は出てこなかった。

そごうの跡地利用に加え、駅前の開発を総合的に考えることが必要と考え「くれワンダーランド構想」が立ち上がり、今年度、基本計画を策定する予定となっている。策定にあたり、タクシー業界、農協、地権者など関係者の合意を得ながら行う。

駅前開発の知見を持つ識者を集め、呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会が行われた。

合計 4 回の会議が行われ可能性について市に提言している。実現性よりも、可能性がある事柄を提言しており、予算など詳細については今年度の基本計画で決まっていくところである。これまでの調査の中では、民間にとって、図書館

や子育て施設のような公共施設が併設されているとテナントとして魅力的、と調査結果が出ている。

提言書の内容を抜粋すると

- ①鉄道、バス、港、総合交通拠点
- ②駅前周辺の一般車の送迎環境改善
- ③バリアフリーの推進
- ④交通網利用者の利便施設を兼ねた複合施設を整備商業施設、住居施設、公共  
公益施設
- ⑤駅に防災機能を持たせる 燃料電池車の発電機能での給電
- ⑥呉全域の交通まちづくり 次世代モビリティやBRT、小規模でのデマンド交  
通網形成
- ⑦アーバンデザインセンターの設置 公民学の連携組織 羽藤氏(東京大学)が  
推進している 継続的な待ちのにぎわいの創出 マネジメント
- ⑧観光客の移動しやすい、市内周遊性の創造
- ⑨近隣都市との広域連携 都市間連携の強化
- ⑩災害時の地域防災拠点としての機能 交通ネットワークの拠点  
となっている。

懇談会の有識者の人選についてであるが、ほぼ現市長の人脈で行なっている。市長は東大卒で、人脈を有効活用している。委員の一人である鈴木克宗氏(呉市の政策顧問)が市長と懇意だったため人選され、鈴木氏が他のメンバーを見つけている。鈴木氏は、元官僚で、バスタ新宿のような、JRの線路上にバス路線の集約化を行うなど、バス発着のバスターミナル計画にも参画している。バスタ新宿の計画時に一緒に参画した羽藤英二氏も今回のメンバーとして参加している。他に、塚井氏、オブザーバーの富樫氏、福田氏、植田氏も鈴木氏のつながりである。国道の事業と立体道路制度を絡めたイメージがあり、それを叶うための人選となっている。

鈴木氏が入ったことにより、国の方向性に対して理解が進み、計画全体が地方をリードする壮大なビジョンとなっている。通常は、市単独で不可能な事業でも、国も乗りやすいような将来ビジョンを設計することで国のパワー導入に期待ができる。

## 視察研修レポート

視察地域：西粟倉村

視察内容：百年の森林事業

講師：産業観光課 豊福 靖宏 氏

西粟倉村の基本情報として人口1454人。面積75,97km<sup>2</sup>、内93%を森林が占める。高齢化率は36%となっている。

今回の視察地である西粟倉村は、国の新しい森林管理制度のモデルケースとして想定され、現在の国の方針に活かされている。

## 百年の森林事業

森林の管理計画である百年の森林事業は平成20年に「百年の森林構想」を着想し平成21年4月に「百年の森林事業」としてスタートした。

百年の森林構想とは、約50年前に植樹された森林の上質な管理を目指し、森林産業の価値創造と産業の創出である。

平成31年には10年間の事業成果が認められ、SDGs未来都市認定(内閣府)を受け、自治体の森林管理におけるモデルケースとして国に選定されている。

現在はこれまでの事業評価を行い、今後の10年でさらに森林活用を進める計画となっている。

「百年の森林事業」には「川上」と「川下」と呼ばれる2つの管理体系がある。

「川上」は主に森林管理・森林整備(切捨、搬出間伐、作業道の開設)・間伐材の販売。コンセプトは生物が豊かで、美しく安全な森林づくりを目指している。

「川下」は森の学校と呼ばれる民間企業を軸に、間伐材を使った商品開発・販売、西粟倉ファンの創出。コンセプトは森林をきっかけに西粟倉を多面的に活性化することを目指している。

目標としている森林の面積は3000ha。森林の総面積は5,400haでそのうち、私有林が4003ha。その内の1000haは会社有林であるが、残る3000haを百年の森林事業で管理することを目標としている。

事業全体の主体となるのは森林の所有者・西粟倉村・森林組合の3者となっている。

個別・分散化されている民有林を、村が集約管理することで、横断的な路網の整備や集約した材木搬出など、低コストで効率的な森林整備を実現している。

事業導入にあたり、「西粟倉村長期施業管理に関する契約」を策定している。内容として、契約期間(10年)の定め、森林所有者への負担費用がないこと、付加価値付加のためにFSC認証取得の経費を村が負担すること、利益の配分、森林吸収源販売制度の同意などが定められている。

森林の管理技術として、レーザー航測のシステム導入により、机上で行える効率的な路網整備計画と、単木ごとでの把握を可能としており、年間の伐採可能木材量の把握、生育状況のデータベース化、高低差や地形認識の向上を可能とするなど、多面的に効果を発揮している。

システムはPC以外に、モバイル端末であるスマホにも導入され、現地踏査の際にも地形を把握しながら確認できる。今後も森林管理のためのゾーニングに活かされる。

西粟倉の間伐材の流れとして、一般的に原木市場へ卸される木材が、森林組合により、A・B材は森の学校に、C材は村内にある温泉施設の薪ボイラー燃料として利用されている。

森林管理面積の目標面積は3000haであるが、現段階では1133haとなっている。10年で更新期間があり、更新前は1494haで、継続更新されたのは1133ha。更新時期を迎えたタイミングで民有林の預け入れが減少している。課題として、長期視点での森林管理の必要性を所有者へ説明する必要があるとのことであった。

森林整備の施業費用として、国庫補助事業と単県補助事業の活用、一般会計からの繰り入れ金、間伐材販売収益、共有の森ファンド、フォレストック認定(森林吸収源の販売)などを充当している。

販売材積として、平成29年に2301m<sup>3</sup>、平成30年には5005m<sup>3</sup>と販売材積は増加している。

事業量の増加・搬出間伐の増加により林業事業体の経営の安定と村産材の増加し、新たな林業事業体や木材加工業者も誕生している。

## 課題解決に向けた新しい体制へ

今後の課題として、間伐・契約面積を増やす、獣害対策、木材の安定供給、より多くの森林所有者の森林整備への参加が挙げられている。



平成31年からは体制も大きく変わり、これまで村・森林組合・森林所有者で行われていた3者契約を、村と森林所有者の2者契約とし、村が平成29年10月に起業した「株式会社百森」に再委託する体制となっている。体制の変更により、森林所有者との細やかな関係性維持や、計画的な出材管理などが行いやすくなる。

新たな契約実施予定で、三井住友信託銀行との連携で行う「森林信託」が導入される予定。一般的に山の管理には、相続手続きや税金の負担などの課題があるが、森林信託により民有林所有者の固定資産税の金銭負担、森林の整備費用、相続手続きが簡便になるメリットがある。

今後は、百森での契約、森林信託、森林経営管理法など様々な管理手法を用いて集約化を目指している。








事業を行ってきた中で、地域で起業の動きも出ている。主なものとして、(株)森の学校(木材の6次産業化と移住定住・起業支援事業)、木工房ようび(デザイナーズ家具)、(株)sonraku(バイオマス、再生エネルギー)、(株)木の里工房木薫(森林組合から若い職員が独立・木材加工事業)、ニシアワー製造所(西粟倉村産のFSC材の製造)などがある。

森を通したファンづくりも積極的に行われ、森林所有者に対する森林ツアーや、共有の森ファンドの投資者のツアーなど、森林を活かした取り組みが行われている。

百年の森林事業を中心とした取り組みは他にもあり、新生児への地元木材を使った玩具の贈呈、村内の主要施設への木材使用、東京都港区との木材協定など、森林事業から派生するものは多い。

未利用間伐材も積極的に活用され、村内の温泉や今後建設される施設へも木質バイオマスとして供給される。

様式第8号（第6条関係）

決 裁	議 長	局 長	次 長	係 長	係 員
				 	 

### 派遣承認要求書

令和元年7月12日

栗原市議会議長 殿

会 派 名 新清流

代表者氏名 高橋 義雄



下記のとおり議員を派遣したいので、承認されるよう要求します。

記

日 時	令和元年7月23日（火） 午前10時30分から午前11時30分まで
派 遣 先	宮城県登米市
派遣目的	登米市「登米市議会における事務事業評価について」
経 費	2,016円（交通費）
派 遣 議員氏名	澤邊 幸浩
議長依頼 文の要否	<input checked="" type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 否
備 考	



## 視察研修結果報告書

令和 元年 7月 30日

栗原市議会議長 佐藤 久義 殿

会 派 名 新清流  
代表者氏名 高橋 義雄



視察・研修した結果について、下記のとおり報告します。

### 記

1 期 間 令和 元年 7月 23日

2 視察研修先 宮城県登米市

### 3 目 的

議会による事務事業評価について

### 4 調査研究内容

執行機関の事務執行を監視・評価し、議会としての議決責任を果たし、積極的な政策立案など行っている現状内容を調査する。

5 参加議員 澤邊幸浩

### 6 所 感









登米市議会において取り組みがなされている、議会による事務事業評価であるが、議会改革の一環として昨年度より実施されている。二元代表制として、議会が市の執行機関の事務執行を監視・評価し、適正な行政運営の確保に努め、議会としての議決責任・説明責任を果たすとともに、積極的に政策立案等を行うという、その姿勢と議会全体の積極果敢な取り組み・実行性は注目するに値するものとする。



栗	原	市	議	会		新	清	流		会	派	視	察	研	修	報	告	書	
	期	日		R	元	年	7	月	2	3	日								
							栗	原	市	議	会	新	清	流		澤	邊	幸	浩
	宮	城	県	登	米	市	議	会	に	お	い	て	、	昨	年	度	よ	り	議
会	に	よ	る	事	務	事	業	評	価	が	な	さ	れ	て	い	る	。	議	会
が	執	行	機	関	の	事	務	執	行	を	監	視	・	評	価	す	る	と	い
う	取	り	組	み	を	知	る	に	つ	け	、	ど	の	よ	う	な	経	緯	で
、	そ	の	内	容	に	つ	い	て	詳	細	に	聞	き	た	い	と	調	査	す
る	に	至	っ	た	。	議	員	が	個	人	と	し	て	監	視	・	評	価	し
て	提	言	す	る	よ	り	も	、	議	会	全	体	と	し	て	提	言	し	て
い	く	こ	と	は	、	執	行	機	関	に	と	っ	て	は	比	較	に	な	ら
な	い	ほ	ど	の	重	き	が	あ	る	と	推	察	さ	れ	る	。	昨	年	度
の	実	施	要	項	は	、	各	常	任	委	員	会	に	お	い	て	、	所	管
事	務	調	査	の	一	環	「	深	堀	り	調	査	」	と	し	て	実	施	さ
れ	て	い	る	。	評	価	対	象	事	業	は	、	登	米	市	総	合	実	施
計	画	に	搭	載	さ	れ	て	い	る	事	業	の	う	ち	、	政	策	的	事
務	事	業	(	ソ	フ	ト	事	業	)	を	対	象	と	し	て	、	各	常	任
委	員	会	ご	と	3	事	業	を	選	定	し	評	価	す	る	も	の	で	あ
る	。	今	年	度	も	、	昨	年	度	の	実	施	内	容	の	反	省	点	も
踏	ま	え	、	事	務	事	業	評	価	が	実	施	さ	れ	て	い	く	。	今



様式第8号 (第6条関係)

決 裁	議 長	局 長	次 長	係 長	係 員
				 	  

### 派遣承認要求書

令和元年11月1日

栗原市議会議長 殿

会派名 新清流  
代表者 高橋 義雄



下記のとおり議員を派遣したいので、承認されるよう要求します。

#### 記

日 時	令和 元年 11月12日 (火) 午前11時14分から 令和 元年 11月13日 (水) 午後17時56分まで
派遣先	青森県県民福祉プラザ (青森県中央3丁目20-30) オガール企画合同会社 (岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前2丁目3-12)
派遣目的	・2040 未来ビジョン出前セミナーIn 青森 「一人暮らしの高齢世帯と在宅医療/介護」 ・オガールプロジェクト視察研修
経 費	16,500円 (視察研修費) 32,650円 (旅費)
派遣 議員氏名	澤邊 幸浩
議長依頼 文の要否	要 <input checked="" type="checkbox"/>
備 考	

※ その他資料があれば添付願います。



栗原市議会会派 「新清流」 視察行程表

日程

令和元年11月12日(火) から13日(水)まで

月日 (曜日)	行 程	発	着	摘 要
11月12日 (火)	くりこま高原駅 ~ 盛岡駅	11:14	12:07	やまびこ43号
	盛岡駅 ~ 新青森駅	12:37	13:29	はやぶさ15号
	新青森駅 ~ 青森駅	13:49	13:51	JR奥羽本線・青森行
	青森駅 ~ 働く女性の家前	13:53	13:55	バス
	【研修】 2040未来ビジョン出前セミナー in青森「一人暮らしの高齢世帯と在宅医療/介護」	14:00	16:15	青森市「県民福祉プラザ4階県民ホール
	働く女性の家前 ~ 県庁通り(宿泊先)	16:46	16:54	バス
	ホテル(泊)			【宿泊先】 ホテルJALシティ青森(青森市内)
11月13日 (水)	アスパム前 ~ 新青森駅	11:22	11:41	バス
	新青森駅 ~ 盛岡駅	11:52	12:45	はやぶさ18号
	盛岡駅 ~ 紫波中央駅	13:09	13:28	JR東北本線・一関行
	【視察調査】 「オガールプロジェクトについて」	14:00	16:15	オガールプラザ中央棟 紫波町情報交流館 2階大スタジオ
	紫波中央駅 ~ 北上駅	16:51	17:20	JR東北本線・北上行
	北上駅 ~ くりこま高原駅	17:30	17:56	はやぶさ112号

# 2040

Seminar of the vision for the future , 2040

## 2040

### 未来ビジョン出前セミナー in 青森

2019年

11/12(火)

14:00~16:15

(13:30開場・受付)

講師: 中澤まゆみ氏 (シンフィクション・ライター)  
演題: 『一人暮らしの高齢世帯と在宅医療/介護』

県民福祉プラザ 4階県民ホール

〒030-0822 青森県青森市中央三丁目20-30

定員300名

参加無料

詳細は裏面へ

主催  
全国市議会議長会



# 2040未来ビジョン出前セミナー in 青森

## 開催趣旨

政府においては、高齢者人口が最大となる 2040 年頃を見据えた対応が始まっており、地域に密着し、現場に精通する地方自治体が諸般の対策を先導していくことが求められています。とりわけ都市の役割が増大し、多様な民意の集約を本義とする市議会の責務も一段と重要になります。全国の市議会がその責務を十全に果たす上で、議会各人の自己研鑽と活力増進がこれまで以上に期待されます。

本セミナーは、近い将来、わが国の経済社会構造に大きな変容を迫る主要テーマに関して、様々な見解を冷静に吟味しつつ必要な知識、見識、教養を深め、諸課題への対応に備えることを目的として開催するものです。

## プログラム

13:30

開場

14:00

開会

14:15~15:45

講演「一人暮らしの高齢世帯と在宅医療/介護」

15:45~16:15

質疑応答・意見交換

16:15

閉会

## 講師



ノンフィクション・ライター

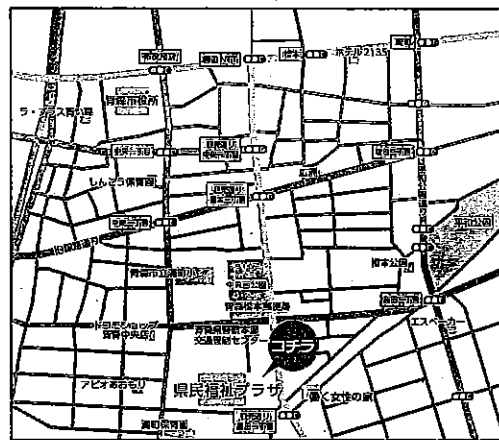
中澤まゆみ (なかざわまゆみ) 氏

1949 年長野県生まれ。雑誌編集者を経てライターに。介護をきっかけに、医療と介護の執筆を開始。著書に『おひとりさまの「法律」』、『男おひとりさま術』（いずれも法研）、『おひとりさまの終活』（三省堂）、『おひとりさまでも最期まで在宅』、『おひとりさまの終の住みか』、『おひとりさまの介護はじめ 55 話』など多数。新刊は『人生 100 年時代の医療・介護サバイバル』（いずれも築地書館）。取材執筆のかたわら全国で講演活動。在住の世田谷区では介護家族・住民目線で講座活動を行い、住民を含めた多職種連携コミュニティ「せたカフェ」で「認知症カフェ」、「せたがや居場所サミット」などを開催する。認知症になったひとり暮らしの友人を 15 年介護。認知症になった母を 4 年間遠距離介護し、一昨年、自宅で看取った。現在 95 歳要介護 1 の父を遠距離介護中。

## 会場

県民福祉プラザ 4階県民ホール

〒030-0822 青森県青森市中央三丁目20-30



## 交通アクセス

公共交通機関でお越しの方

### バス

- 中央環状線「県民福祉プラザ前」下車
- JR 青森駅前 4 番乗り場より下記行きで 15 分  
〔市民病院線、横内環状線、問屋町行き、大野浜田環状線、朝日放送行き〕  
「働く女性の家前」下車 徒歩 1 分
- 国道 4 号線「市役所前」下車 徒歩 15 分「NTT 前」下車 徒歩 10 分

※閉会后、会場から新青森駅まで無料のシャトルバスを運行いたしますので、ご利用ください。(申込不要)

## 視察研修結果報告書

令和 元年11月26日

栗原市議会議長 佐藤 久義 殿

会 派 名 新清流  
代表者氏名 高橋 義雄



視察・研修した結果について、下記のとおり報告します。

### 記

- 1 期 間 令和 元年11月12日～13日
- 2 視察研修先 青森県青森市 県民福祉プラザ  
岩手県紫波町 オガールプラザ
- 3 目 的  
(1) 2040未来ビジョン出前セミナーin 青森  
(2) オガールプロジェクト視察研修
- 4 調査研究内容  
(1) 一人暮らしの高齢世帯と在宅医療・介護についてのセミナー参加  
(2) オガールプロジェクトの事業概要、事業実績、事業効果についての調査
- 5 参加議員 澤邊幸浩
- 6 所 感  
(1) ひとり暮らしの高齢者と在宅医療・介護と題して、「人生100年時代をどう生きる」という命題に対して、ノンフィクションライターの中澤まゆみ氏を講師に迎え、講師が実際に家族、友人の介護経験をきっかけに医療と介護、福祉分野への提言を聞く。人生100年時代の老後を見据え、その老後を考える必要があると説く。日本のケアの課題、施設ケアから在宅ケアへの移行、地域包括ケアとして「ケアする社会」への必要性とケアのまちづくりの重要性を痛切に感じた。











- (2) オガールプロジェクト事業について調査する。オガールプロジェクトとは、公共サービスの提供など、政策目的を持つ事業として、官と民が目的決定、施設建設、所有、事業運営、資金調達などの役割分担を連携して行う事業である。この公民連携事業の全国的にも先駆けとなるプロジェクトがどのように設立され、運営されているのか、その詳細を聞き、間近に見て、これからの自治体に必要な公民連携事業のあり方について、そのヒントとなる言葉の数々を聞いたことは、たいへん参考になった。

栗	原	市	議	会	新	清	流	会	派	視	察	研	修	報	告	書			
期	日	令	和	元	年	1	1	月	1	2	日	～	1	3	日				
						栗	原	市	議	会	新	清	流	澤	邊	幸	浩		
今	回	、	2	日	間	に	渡	り	、	青	森	県	青	森	市	で	開	催	
さ	れ	た	、	全	国	市	議	会	議	長	会	主	催	の	「	2	0	4	0
未	来	ビ	ジ	ョ	ン	出	前	セ	ミ	ナ	ー	in	青	森	」	と	岩	手	県
紫	波	町	に	て	、	当	町	で	事	業	化	さ	れ	て	い	る	「	オ	ガ
ー	ル	プ	ロ	ジ	ェ	ク	ト	」	に	つ	い	て	調	査	研	究	を	行	っ
た	。	初	日	は	、	青	森	市	で	開	催	さ	れ	た	セ	ミ	ナ	ー	に
参	加	、	セ	ミ	ナ	ー	の	演	題	は	「	一	人	暮	ら	し	の	高	齢
世	帯	と	在	宅	医	療	・	介	護	」	に	つ	い	て	講	義	を	受	け
る	。	人	生	百	年	時	代	を	ど	う	生	き	る	と	い	う	テ	ー	マ
の	中	で	、	介	護	保	険	の	導	入	以	後	、	そ	の	変	遷	に	介
護	の	現	場	が	則	し	て	い	る	の	か	、	甚	だ	疑	問	で	あ	る
と	講	師	は	説	く	。	日	本	の	ケ	ア	の	課	題	と	し	て	、	こ
れ	か	ら	の	時	代	の	キ	ー	ワ	ー	ド	は	「	人	生	百	年	時	代
」	と	「	フ	ア	ミ	レ	ス	時	代	」	で	あ	る	。	こ	の	キ	ー	ワ
ー	ド	を	ひ	も	解	き	、	ど	う	克	服	し	て	い	く	の	か	、	自
治	体	に	課	せ	ら	れ	た	「	命	題	」	で	あ	る	。	そ	の	打	開
策	は	、	自	助	・	互	助	・	共	助	・	公	助	を	、	ど	う	地	域

全	体	で	取	り	組	め	る	か	。	独	居	世	帯	が	増	大	す	る	
「	フ	ァ	ミ	レ	ス	時	代	」	に	住	民	に	よ	る	福	祉	活	動	を
ど	う	組	織	化	で	き	る	か	、	行	政	に	か	か	る	組	織	の	育
成	が	急	務	で	あ	る	と	感	じ	た	。	二	日	目	は	、	岩	手	県
紫	波	町	で	開	催	さ	れ	た	「	オ	ガ	ー	ル	プ	ロ	ジ	ェ	ク	ト
」	に	つ	い	て	の	視	察	調	査	を	行	っ	た	。	オ	ガ	ー	ル	プ
ロ	ジ	ェ	ク	ト	と	は	、	紫	波	町	が	取	り	組	む	公	民	連	携
事	業	の	名	称	で	あ	る	。	こ	の	事	業	は	、	全	国	的	に	も
先	駆	的	な	成	功	事	例	と	し	て	注	目	を	集	め	て	い	る	。
こ	れ	か	ら	の	、	自	治	体	に	お	け	る	施	設	建	設	、	施	設
管	理	・	運	営	は	、	行	政	単	独	で	行	う	に	は	、	財	政	的
に	見	て	も	厳	し	い	現	状	が	見	え	て	い	る	。	い	か	に	民
間	活	力	を	生	か	し	て	、	公	と	民	が	連	携	し	て	施	設	等
の	運	営	に	当	た	れ	る	か	が	、	自	治	体	が	抱	え	る	、	施
設	運	営	の	課	題	解	決	と	な	り	得	る	も	の	と	感	じ	た	。
最	後	に	、	紫	波	町	の	公	民	連	携	事	業	の	キ	ー	パ	ー	ソ
ン	と	な	る	方	の	言	葉	と	し	て	、	成	功	の	ポ	イ	ン	ト	は
、	公	は	民	に	ど	れ	だ	け	委	ね	ら	れ	る	か	、	民	は	ど	れ
だ	け	パ	ブ	リ	ッ	ク	マ	イ	ン	ド	を	持	て	る	か	と	説	い	て
い	た	。	た	い	へ	ん	心	に	残	る	言	葉	で	あ	っ	た	。		

様式第8号 (第6条関係)

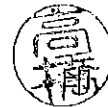
決 裁	議 長	局 長	次 長	係 長	係 員
				 	  

### 派遣承認要求書

令和2年 1月 24 日

栗原市議会議長 殿

会派名 新清流  
代表者 高橋 義雄



下記のとおり議員を派遣したいので、承認されるよう要求します。

#### 記

日 時	令和 2年 2月 5日 (水) 6時 57分から 令和 2年 2月 6日 (木) 19時 52分まで
派遣先	幕張メッセ 千葉県千葉市美浜区中瀬2丁目1 アットビジネスセンター池袋駅前別館 東京都豊島区東池袋3丁目7-9-803
派遣目的	・地方創生 EXPO 特別講演 専門セミナー参加 ・2040年構想と議会のあり方特別講座参加
経 費	37,260円 (旅費)、25,000円 (受講料)
派遣 議員氏名	澤邊 幸浩
議長依頼 文の要否	要 <input checked="" type="checkbox"/>
備 考	

※ その他資料があれば添付願います。



## 令和元年度栗原市議会 澤邊幸浩議員研修行程

日程 令和2年2月5日(水)から2月6日(木)まで

月日 (曜日)	行 程	発	着	摘 要
2月5日 (水)	くりこま高原駅 ～ 東京駅	6:57	8:56	JR新幹線はやぶさ102号
	【研修】第3回地方創生EXPO 〔地方活性化事例紹介〕 ・食農を起点とした街づくりの実現に向けて ・IoTで実現する子ども・高齢者の見守り事例	10:00	11:00	
	【スマートシティの展望①】 ・人口減少社会に対応した、まちづくりとスマートシティの将来像	12:00	12:45	
	【図書館・書店の役割】 ・真の地方創生と公共図書館の役割	14:00	14:45	
	【DMO（地域観光づくり）】 ・持続可能な地域のためのDESTINATIONマネジメント	16:00	16:45	
	宿泊先			【宿泊先】 東京都内
2月6日 (木)	【研修】 2040年構想と議会のあり方特別講座 「2040構想」と今後の自治のかたち	10:00	13:00	
	令和時代の議会論	14:00	17:00	
	東京駅 ～ くりこま高原駅	17:56	19:52	JR新幹線はやぶさ107号

# 招待券

来場対象者

全国の自治体・観光協会・官庁など

第3回

# 地方創生 EXPO

地域PR、観光・インバウンド支援、産業支援、IT、スマートシティ推進 が一堂に

会期：2020年2月5日[水]～7日[金] 10:00～18:00 最終日のみ17:00終了

会場：幕張メッセ 主催：リード エグジジション ジャパン(株)

特別後援：(一財)地域活性化センター

当社があなたをご招待いたします

主催者

リード エグジジション ジャパン(株)

〒163-0570 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル18階  
TEL: 03-6362-6785 FAX: 03-3295-7007

本券をお持ちでない場合、入場料 ¥5,000/人。18歳未満の方の入場は回くお断りします。最新情報はWebへ ▶ [www.sousei-expo.jp](http://www.sousei-expo.jp)

## 本展は導入・比較検討のための展示会です

### 来場対象者

自治体、観光協会、商工会  
商工会議所 で下記に関わる方々

- 地方創生
- 観光推進
- シティプロモーション
- 産業振興、ICT推進
- 移住・定住促進
- スマートシティ推進

…など

下記のことができます

- ◆ 課題解決の相談
- ◆ 製品の比較・検討
- ◆ 業務委託先の選定
- ◆ 新規発注先の開拓

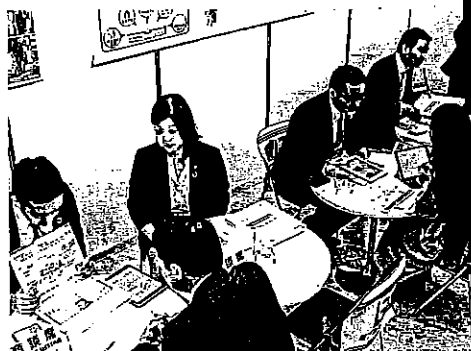
### 出展社

下記を提供する企業

- プロモーション・PR
- 観光・インバウンド支援
- 産業振興
- 自治体向けICT
- 自治体向けサービス
- スマートシティ関連

…など

### 前回(2019年)の会場風景









# 業界第一人者によるセミナーを毎日開催!

2019年1  
都合によ  
なお、掲

## 1 基調講演 無料・事前申込制

<p><b>K-1 ライブエンターテインメント・スポーツ・地方創生 合同基調講演</b> 2月5日[水]9:30~10:30</p> <p>「長崎スタジアムシティ構想」から考える、スポーツ、ライブエンターテインメントを軸とした地域創生の未来</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【パネリスト】 (株)ディスクガレージ ホールディングス グループ代表 中西 健夫</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【パネリスト】 (株)ジャパネット ホールディングス 代表取締役社長兼 CEO 高田 旭人</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【モデレーター】 早稲田大学 スポーツ学術院 教授/ スポーツビジネス研究所 所長 間野 義之</p>  </div> </div>	<p><b>K-2 地方創生 EXPO 基調講演</b> 2月6日[木]9:30~10:00</p> <p>日本が目指すべき地方創生と スーパーシティ構想</p> <div style="text-align: center;"> <p>前内閣府特命担当大臣 (地方創生担当) / 参議院議員 片山 さつき</p>  </div>
--	--

## 2 地方創生 EXPO 特別講演 無料・事前申込制

<p><b>J-S1 地方活性化事例紹介①</b> 2月5日[水]10:00~11:00</p> <p>食農を起点とした 街づくりの実現に向けて</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(株)NTTアグリテクノロジー 代表取締役社長 酒井 大雅</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>IoTで実現する子ども・ 高齢者の見守り事例</p> <p>京セラコミュニケーション システム(株) LPWAソリューション事業部 副事業部長 大木 浩</p>  </div> </div>	<p><b>J-S2 スマートシティの展望①</b> 2月5日[水]12:00~12:45</p> <p>人口減少社会に対応した、まちづくりとスマートシティの将来像</p> <div style="text-align: center;"> <p>元総務大臣 / 内閣官房「まち・ひと・しごと創生戦略」有識者会議 委員 / 東京大学 客員教授 増田 寛也</p>  </div>
<p><b>J-S3 図書館・書店の役割</b> 2月5日[水]14:00~14:45</p> <p>協力:(公財)文字・活字文化推進機構</p> <p>真の地方創生と公共図書館の役割</p> <div style="text-align: center;"> <p>早稲田大学 教授 / 鳥取大学 客員教授 / 元総務大臣 片山 善博</p>  </div>	<p><b>J-S4 DMO (地域観光づくり)</b> 2月5日[水]16:00~16:45</p> <p>協力:DMO推進機構</p> <p>持続可能な地域のための デスティネーションマネジメント</p> <div style="text-align: center;"> <p>DMO推進機構 代表理事 大社 充</p>  </div>
<p><b>J-S5 地方活性化事例紹介②</b> 2月6日[木]10:00~11:00</p> <p>地方の新しい未来を、 DMMと共に</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(同)DMM.com COO(最高執行責任者)兼 DMM GAMES CEO 村中 悠介</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>空の变革で加速する地方創生 ~国内最大手LCC が考える 地方創生への貢献と可能性~(仮)</p> <p>Peach Aviation(株) 執行役員 事業戦略室長 兼 営業統括本部長 轟木 一博</p>  </div> </div>	<p><b>J-S6 地方創生の国家戦略</b> 2月6日[木]12:00~12:45</p> <p>地方創生のさらなる飛躍に向けて ~第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を中心に~</p> <div style="text-align: center;"> <p>内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局 地方創生総括官補 多田 健一郎</p>  </div>
<p><b>J-S7 インバウンド成功事例</b> 2月6日[木]14:00~14:45</p> <p>外国人観光客が6年で45倍! 「小さな世界都市」豊岡市のインバウンド戦略とは</p> <div style="text-align: center;"> <p>兵庫県豊岡市 市長 中貝 宗治</p>  </div>	<p><b>J-S8 スマートシティの展望②</b> 2月6日[木]16:00~16:45</p> <p>Society 5.0を実現する スマートシティ推進プラットフォーム「都市OS」 ~事例:金津若松市における地方創生の構想と今後の展望~</p> <div style="text-align: center;"> <p>アクセンチュア(株) アクセンチュア・イノベーションセンター-福島 センター長 中村 彰二郎</p>  </div>
<p><b>J-S9 地域創生事業の今</b> 2月7日[金]10:00~10:45</p> <p>第2期地方創生総合戦略(地方版)の課題</p> <div style="text-align: center;"> <p>(一財)地域活性化センター 理事長 椎川 忍</p>  </div>	<p><b>J-S10 デジタルマーケティング</b> 2月7日[金]12:00~12:45</p> <p>地方創生デジタルファースト宣言のすすめ</p> <div style="text-align: center;"> <p>内閣府クールジャパン地域プロデューサー / 観光庁アドバイザー-ボードメンバー 陳内 裕樹</p>  </div>
<p><b>J-S11 イベントによる地域経済活性化</b> 2月7日[金]14:00~14:45</p> <p>東京ガールズコレクションが実現する地方創生プロジェクト</p> <div style="text-align: center;"> <p>(株)W TOKYO 上席執行役員 一色 淳之介</p>  </div>	

## 3 地方創生 EXPO 専門セミナー 有料・事前申込制

<p><b>J-1 地方銀行の役割</b> 2月5日[水]14:00~15:00</p> <p>地域を活性化するための「地方銀行の役割」 ~地域プロデューサー、創業・次世代育成等の事例を踏まえて~</p> <div style="text-align: center;"> <p>(株)三十三総研 専務取締役 / 三重銀行 地方創生推進室長 / 三重大学 理事(産学連携) 客員教授 伊藤 公昭</p>  </div>	<p><b>J-2 スポーツツーリズム</b> 2月6日[木]10:00~11:00</p> <p>スポーツツーリズムは地方創生のエンジン ~スポーツで人を動かす仕組みづくり~</p> <div style="text-align: center;"> <p>(一社)日本スポーツツーリズム推進機構 事務局 事務局長 中山 哲郎</p>  </div>
<p><b>J-3 地方創生ファンド</b> 2月6日[木]16:00~17:00</p> <p>地方創生ファンドによる成功事例紹介 ~共感・感動の Small Business を育て、日本を活性化する~</p> <div style="text-align: center;"> <p>フューチャーベンチャーキャピタル(株) 代表取締役社長 松本 直人</p>  </div>	<p><b>J-4 MaaS</b> 2月7日[金]10:00~11:00</p> <p>ウィラーの交通革命 ~MaaSで実現する地方活性化~</p> <div style="text-align: center;"> <p>WILLER(株) 代表取締役 村瀬 茂高</p>  </div>

議員・職員のための

# 2040年構想と議会のあり方 特別講座 in 東京



講師 金井 利之【東京大学法学部教授】

東京大学法学部卒業。東京都立大学法学部助教授、東京大学大学院法学政治学研究所助教授を経て2006年より同教授。現在に至る。現在、自治体学会理事長や国・自治体・自治関係団体の研修講師・試験委員・審議会委員・研究会委員などに多数就任。主な著書として「自治体議会の取扱説明書」「縮減社会の合意形成」「行政学講義」等多数。また「ガバナンス」に連載中。

2/6(木) 10:00~13:00

## 「2040構想」と今後の自治のかたち

1. 過疎の戦後史
2. 「地方消滅」と「まち・ひと・しごと創生」
3. 人口減少の影響
4. 散居か集住か
5. 多民族社会
6. 情報技術への願望
7. 府県制のあり方
8. 圏域ガバナンス

2/6(木) 14:00~17:00

## 令和時代の議会論

1. 二元代表制論とはなにか
2. 二元代表制論の問題点
3. 討議広場代表制
4. 議会のための職員
5. 議会のための予算審議
6. 議会のための条例審議
7. 議会のための計画策定

## 視察研修結果報告書

令和 2年2月10日

栗原市議会議長 佐藤 久義 殿

会 派 名 新清流  
代表者氏名 高橋 義雄



視察・研修した結果について、下記のとおり報告します。

### 記

- 1 期 間 令和 2年 2月 5日～6日
- 2 視察研修先 千葉県千葉市 幕張メッセ  
東京都豊島区 アットビジネスセンター池袋駅前別館
- 3 目 的
  - (1) 地方創生 EXPO 特別講演 専門セミナー
  - (2) 2040年構想と議会のあり方特別講座
- 4 調査研究内容
  - (1) ・食農を起点とした街づくりの実現にむけて  
・IOTで実現する子ども・高齢者の見守り事例  
・人口減少社会に対応した、まちづくりとスマートシティの将来像  
・真の地方創生と公共図書館の役割  
・持続可能な地域のためのデスティネーションマネジメント
  - (2) ・「2040構想」と今後の自治にかたち  
・令和時代の議会論
- 5 参加議員 澤邊幸浩
- 6 所 感
  - (1) 今回、開催された「第3回 地方創生 EXPO」においては、地域PR、観光・インバウンド支援、産業支援、IT、スマートシティ推進が一堂に介して、出展者と来場者が課題解決の相談、製品の比較・検討、業務委託先の選定、新規発注先の開拓など、自治体、



観光協会、商工会・商工会議所に関わる方々が、それぞれの目的を持って参加している、まさに地方創生の博覧会の趣きがあった。地方創生EXPO特別講演も開催され、地方活性化事例紹介、スマートシティの展望、図書館・書店の役割、DMO（地域観光づくり）について講聴させてもらった。地方創生の指針、あり方、あるべき姿について、これほど多岐にわたり情報発信されたイベントは貴重なものであると思った。

- (2) 2040年構想と議会のあり方特別講座と題して、「2040構想」と今後の自治体のかたちと、令和時代の議会論を題材にしたセミナーを受講する。2040構想とは、人口減少により地方消滅が懸念される中で、人口減少の影響、情報技術への願望、府県制のあり方、圏域ガバナンスが提示され、2040構想として今後の自治体のかたちが示された。令和時代の議会論としては、二元代表制のあり方を問題提起し、議会のための予算審議、議会のための条例審議、議会のための計画策定と二元代表制であるが故の、議会の審議、策定を改めて矜持された思いである。

栗	原	市	議	会	新	清	流	会	派	視	察	研	修	報	告	書			
期	日	令	和	2	年	2	月	5	日	～	6	日							
						栗	原	市	議	会	新	清	流	澤	邊	幸	浩		
初	日	の	地	方	創	生	E	X	P	O	、	特	別	講	演	専	門	セ	
ミ	ナ	ー	を	受	講	す	る	。	「	食	農	を	起	点	と	し	た	街	づ
く	り	」	に	つ	い	て	は	、	有	機	無	農	薬	裁	培	を	実	践	す
る	農	事	組	合	組	織	を	事	例	に	し	て	、	農	業	生	産	物	の
み	な	ら	ず	、	6	次	産	業	化	を	導	入	し	、	製	品	の	製	造
、	販	売	を	手	掛	け	る	ま	で	に	成	長	し	て	い	る	。	そ	れ
の	み	な	ら	ず	、	有	機	無	農	薬	農	法	を	伝	授	す	る	農	業
塾	を	開	設	、	食	育	や	防	災	の	拠	点	と	し	て	地	域	に	貢
献	で	き	る	組	織	と	し	て	存	在	し	て	い	る	。	「	I	O	T
で	実	現	す	る	子	ど	も	、	高	齢	者	の	見	守	り	事	例	」	と
し	て	、	現	在	、	I	O	T	端	末	と	し	て	ア	プ	リ	が	開	発
さ	れ	て	お	り	、	ス	マ	ー	ト	フ	ォ	ン	に	て	、	監	視	カ	メ
ラ	、	G	P	S	と	し	て	機	能	す	れ	ば	、	子	ど	も	や	高	齢
者	の	見	守	り	が	格	段	に	飛	躍	で	き	る	事	例	が	説	明	さ
れ	た	。	「	人	口	減	少	社	会	に	対	応	し	た	、	ま	ち	づ	く
り	と	ス	マ	ー	ト	シ	テ	ィ	の	将	来	像	」	に	つ	い	て	、	人
口	減	少	に	よ	り	地	方	の	集	落	が	点	在	す	る	現	状	に	つ






け、コミュニティが崩壊しかねない。コミュニティの再構築に向けて、スマートシティのあり方やまちづくりのノウハウを先進地の事例を参考に示された。「真の地方創生と公共図書館の役割」として、国の指針に頼らず、地方自治体のあるべき指針を構築することが重要であると説く。その中で、公共図書館の役割があるべき指針を示すことができるという。それは、自治体のアーカイブスを正確に保管すること。その中で、自治体の歩んできた歴史と向き合い、これから歩むべき指針を紐解いていくことが、大切であるという。「持続可能な地域のためのデステイネーションマネジメント」については、外国人旅行者が増大する中で、地方においても、その観光客の取り込みは自治体の観光業にとって、その影響は大きいものとなっている。しかし外国人受けの観光の取り扱いでは、長期的には飽きられてしまう。求められるのは、自治体が持つ、伝統や文化、自然環境に磨きをか

け、観光に結びつけることが大切であると説  
く。二日目は、「2040構想」と今後の自  
治体のかたち、令和時代の議会論について受  
講する。「2040構想」とは、人口減少時  
代に直面する中で、低密度による自治体の、  
広域化・合併化・圏域化・道府県化が204  
0年には、顕著になってくると説く。人口規  
模によつて、自治体の能力や効率性が規定さ  
れ、道州制論が再燃し、議論される可能性は  
大いにあり得るという。それにより、令和時  
代の議会論が提議された。現在の議会におい  
ては、二元代表制ではあるが、首長集権、首  
長優位が確立されている。今後、議会を強化  
することが議会改革、そして首長と議会が対  
等であるといえる。議会の二大権限は、条例  
と予算、しかし、条例・予算の議決権が空洞  
化している現状で、いかに強化できるのか。  
容易ではないことはわかっているが、自治体  
の広域合併化が2040年に現実味を帯びる  
中で、議会が首長と対等な力が持てない自治





様式第8号 (第6条関係)

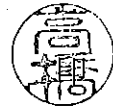
決 裁	議長	局長	次長	係長	係員		
				 			

派遣承認要求書

令和 2年 2月10日

栗原市議会議長 殿

会派名 新清流  
代表者 高橋 義雄



下記のとおり議員を派遣したいので、承認されるよう要求します。

記

日 時	令和 2年 3月 16日 (月) 5時 00分から 平成 2年 3月 18日 (水) 17時 00分まで
派遣先	熊本県熊本市 熊本県 危機管理防災課 鹿児島県鹿児島市 公益社団法人 鹿児島県農業・農村振興協会 鹿児島県南九州市 株式会社 エヌチキン
派遣目的	熊本県危機管理防災課 災害対応工程管理システム (BOSS) の 構築・運用についての机上調査 公益社団法人 鹿児島県農業・農村振興協会 鹿児島6次産業化サポートセンターについての机上調査 株式会社 エヌチキン 6次産業化に取り組む企業の現地調査
経 費	599,700円
派遣 議員氏名	高橋 義雄、佐藤 範男、阿部 貞光、澤邊 幸浩、高橋 将
議長依頼 文の要否	(要) 否
備 考	

※ その他資料があれば添付願います。



栗原市議会会派 「新清流」 視察行程表

日程

令和2年3月16日(月)から18日(水)まで

月日 (曜日)	行 程	発	着	摘 要
3月16日 (月)	くりこま高原駅 ~ 仙台空港	5:00	6:30	レンタカー移動
	仙台空港 ~ 福岡空港	7:35	9:45	ANA1276
	福岡空港 ~ 熊本市	10:30	12:00	レンタカー移動
	昼食等	12:00	13:00	【熊本市内】
	【行政視察(机上調査)】 「災害対応工程管理システム(BOSS)の構築・運用について」	13:30	15:30	熊本県熊本市、熊本県庁、危機管理防災課 TEL 096-330-2811
	熊本県庁 ~ 宿泊先	15:30	17:45	レンタカー移動
	ホテル(泊)			【宿泊先】 ホテルサン人吉(熊本県人吉市内) TEL 0966-22-7741
3月17日 (火)	ホテル ~ 鹿児島県庁	7:45	9:30	レンタカー移動
	【行政視察(机上調査)】 「鹿児島6次産業化サポートセンターについて」	10:00	12:00	鹿児島県鹿児島市(鹿児島県庁内)、 公益社団法人鹿児島県農業・農村振興協会 TEL 099-215-7223
	昼食等	12:00	13:00	【鹿児島市内】
	鹿児島市 ~ 南九州市	13:00	14:00	レンタカー移動
	【行政視察(施設視察)】 「株式会社エヌエフエ (6次産業化に取り組む企業の現地調査)」	14:00	15:30	鹿児島県南九州市、株式会社エヌエフ TEL 0968-70-2111
	南九州市 ~ 宿泊先(鹿児島市)	15:30	18:00	レンタカー移動
	ホテル(泊)			【宿泊先】 ホテルアービック鹿児島(鹿児島市内) TEL 099-214-3588
3月18日 (水)	ホテル ~ 鹿児島中央駅	9:00	9:35	徒歩
	鹿児島中央駅 ~ 博多駅	9:35	11:00	JR新幹線さくら548号
	博多駅 ~ 福岡空港	11:00	13:40	地下鉄
	福岡空港 ~ 仙台空港	13:40	15:25	JAL3537
	仙台空港 ~ 仙台駅	15:25	16:39	アクセス線
	仙台駅 ~ くりこま高原駅	16:39	17:02	JR新幹線やまびこ65号